

## 《 83期 年間重点事項 》

### 1. 2024年度 全社安全衛生目標

- ※目標値
- ・度数率 0.40 以下
  - ・強度率 0.02 以下

### 2. 重点方針

- (1) 墜転落災害・飛来落下災害と重機（クレーン・車輛系）災害の根絶
- (2) 高温下での作業に伴う災害防止
- (3) リスクアセスメントの確実な実践と、外国人労働者への教育強化
- (4) 健康及びメンタルヘルスに配慮した安全な職場環境の形成

### 3. 重点施策

- (1) 墜転落災害・飛来落下災害と重機（クレーン・車輛系）災害の根絶
  - ① 『開口部ゼロ』対策の実践と指差呼称、音声標識等の標準設置による注意喚起の強化（落下防止設備の先行設置と維持管理の強化）
  - ② 玉掛け作業時の『3・3・3運動』の定着及び吊荷直下の立入禁止の徹底
  - ③ 重機区画と誘導者配置の徹底、作業計画に基づく安全対策の確実な実施
- (2) 高温下での作業に伴う災害防止
  - ① 健康 KY による健康状態の把握と適正配置の実施（空調服着用・体調不良時の報告徹底）
  - ② WBGTに応じた休憩と水分・塩分補給の摂取（熱中症対策の環境整備）
  - ③ 声掛けにより注意力低下に伴う事故・災害の防止
  - ④ 救急車手配に至らないよう、早期に作業をやめさせる。
- (3) リスクアセスメントの確実な実践と、外国人労働者への教育強化
  - ① 安全基本3行動『ひと声かけ、現地 KY、ひとり KY』実践の定着
  - ② 適切な指揮系統（安全衛生責任者・作業主任者・外国人指導員等）による安全管理の徹底
  - ③ 外国人労働者の適正配置、作業中の指導及び作業確認の強化
  - ④ 化学物質リスクアセスメントの徹底
- (4) 健康及びメンタルヘルスに配慮した安全な職場環境の形成
  - ① 残業時間抑制（4週8休）による心身の健康確保
  - ② 「健康経営宣言」に基づく快適な職場環境への環境整備（分煙・女性用トイレの設置等）
  - ③ 高齢作業員の適正配置と作業内容の確認
  - ④ 法令違反の防止（法令順守の指導・「万が一の場合」の報告の徹底）

### 《年間スローガン》

**安全**：危険は 慣れと 油断と 気のゆるみ 抜くな点検！ 省くな手順！

**環境**：分ける知識と ひと手間で 資源増やして ごみ削減  
ゼロエミ目指して 次世代へ

## 7月) 開口部・通路等での災害の防止、全国安全週間

- ①杭穴には杭の種類に応じて、ずれ止め付きの木蓋・鉄板等で覆う。また、関係者以外の者が杭穴に近づかないよう、作業エリア外周部に立入り禁止措置を講じる。
- ②大きな床の開口部周囲及び高所の床の端部には、高さ90cm以上の堅固な手摺及び中さん、(または垂直ネット)と注意看板を設置する。また、資材の落下を防止するため高さ10cm以上の巾木を設置する。また、周辺で作業を行なう場合には指差呼称を実施し安全確認する。
- ③大きな床の開口部で使用しないときは、安全ネットを張り墜落防止措置とする。
- ④小さな床の開口部は、ずれ止め付きの蓋を設置し注意看板を表示する。
- ⑤開口部の手摺・安全ネット等を、作業の都合で一時取り外す際は、使用者に現場事務所まで報告させる。当社は、使用者に墜落制止用器具の使用を指導する。  
また、作業終了後の安全設備の復旧後にも報告させ、復旧状態を確認する。
- ⑥小さな床の開口部を使用する者は、作業終了後、木蓋等の覆いを復旧する。
- ⑦通路は必要に応じて柵、ロープ等で明確にする。
- ⑧通路面(スロープ、階段状に処理した場合も含む)は、つまづき・滑り・踏抜き等の危険のない状態とし、照度を確保する。(勾配が15度を超えるものには踏棧等の滑り止めを設ける)
- ⑨通路には、障害となる製品・材料等を置かない。
- ⑩通路は、適度な照度を保つ。  
(地下の階段には、非常用照明の設置等の仮設計画を検討する)
- ⑪通路上で作業を行う場合には、接触を防止するため柵、標識等を設ける他、他業種との連絡調整を行い、災害の発生を防止する。
- ⑫全国安全週間期間中の行事を、計画し実施する。
- ⑬安全設備、休憩施設の点検を実施し、改善を行い快適な職場環境を作る。
- ⑭作業所長や上司は、新入社員のメンタルヘルス不全(うつ病、統合失調症、不安障害)等に十分注意する。